

田野畑村 村総ぐるみの教育活動

～コミュニティ・スクールと教育振興運動の一体的推進～

令和3年6月1日（火）

県立生涯学習推進センター セミナーホール

田野畑村教育委員会

教育長 相模 貞一

はじめに

海と大地のワンダーランド 田野畑村

田野畑村の特徴

田野畑村 = 岩手県の沿岸北部に位置し、南、西は岩泉町・北は普代村・東は太平洋。

「海のアルプス」：北山崎・鵜の巣断崖

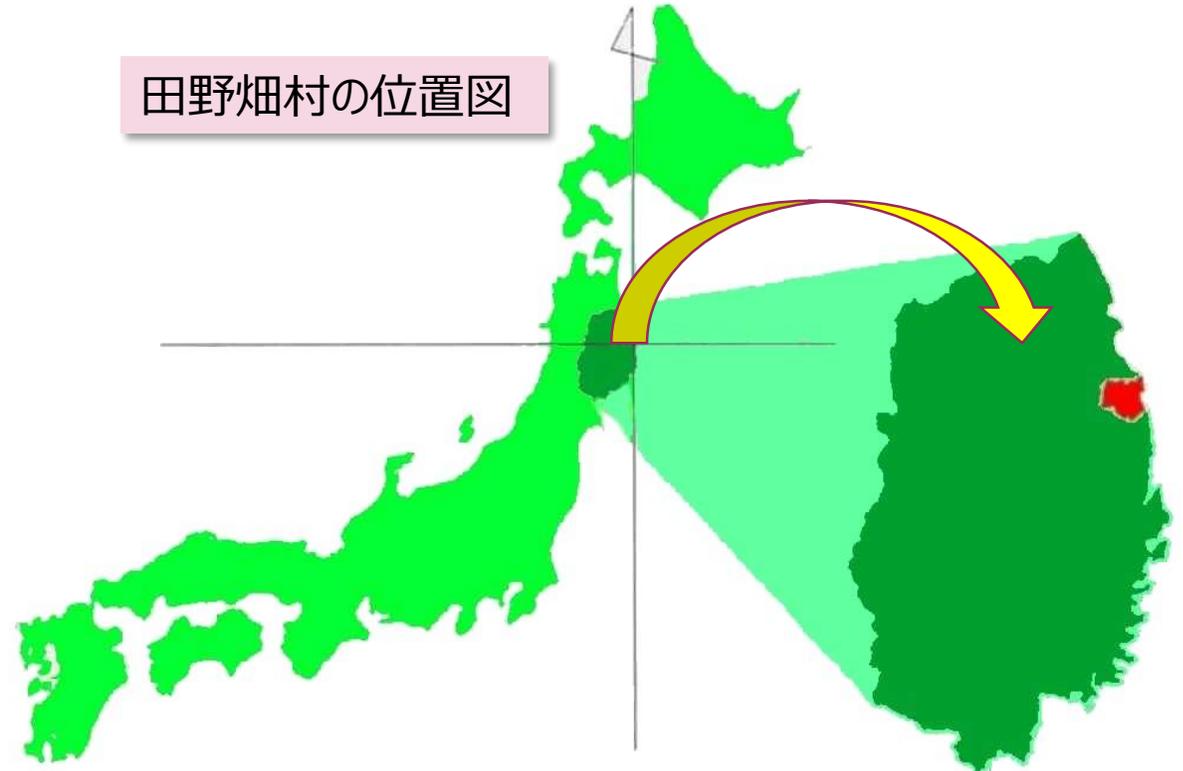
平地は 16% ほとんど山林に覆われた水産業と酪農が中心の臨海型山村です。

人口：3,165人（令和3年5月1日現在）

小学校 1校（田野畑小 131名）

中学校 1校（田野畑中 87名）

田野畑村の位置図



アクセス：自動車での移動（令和2年度：陸前高田～田野畑間 三陸高速道路全線開通）

◇西：盛岡市→岩洞湖→早坂峠→岩泉町→約105km（2時間）

◇南：陸前高田市約135km（1時間45分）→宮古市約40km（35分）

◇北：久慈市→約45km（55分）

⇒以前：田野畑に向かう役人・教師＝赴任するかどうかを思案坂。そして辞職坂！

現在：立派な2つの橋＝「思案坂大橋」・「新思惟大橋」(現在、新しく建設中)

海と大地のワンダーランド

田野畑村

主な産物

海の産物



山ぶどうワイン・ジュース



乳製品



主な観光

北山崎



マレットゴルフ場



サッパ船アドベンチャーズ



道の駅：たのはた思惟の風 令和3年4月22日オープン



海と大地のワンダーランド

田野畑村



羅賀の津波石

明治29年6月15日
20 t・海岸線から360m
海拔25m地点



明戸浜の防潮堤

平成23年3月11日
津波で破壊された防潮堤



田野畑駅

昭和59年年4月1日
三陸鉄道開通
宮沢賢治の詩碑



海と大地のワンダーランド

田野畑村



島越の港

観光船の発着所



島越ふれあい公園

津波後の防潮堤など
島越駅・詩碑

島越駅：カルボナード
田野畑駅：カンパネラ



新思惟大橋の建設

高さ125m・長さ350m
思惟大橋：昭和59年4月1日

思案坂：思案坂大橋
辞職坂：新思惟大橋

海と大地のワンダーランド

田野畑村



田野畑小学校

平成9年新築落成
6校の統合：平成22年4月1日
現在の児童数 = 131人



民俗資料館：一揆の像

三閉伊一揆：1847年と1853年の2度の百姓一揆
我が国最大級の百姓一揆と評価



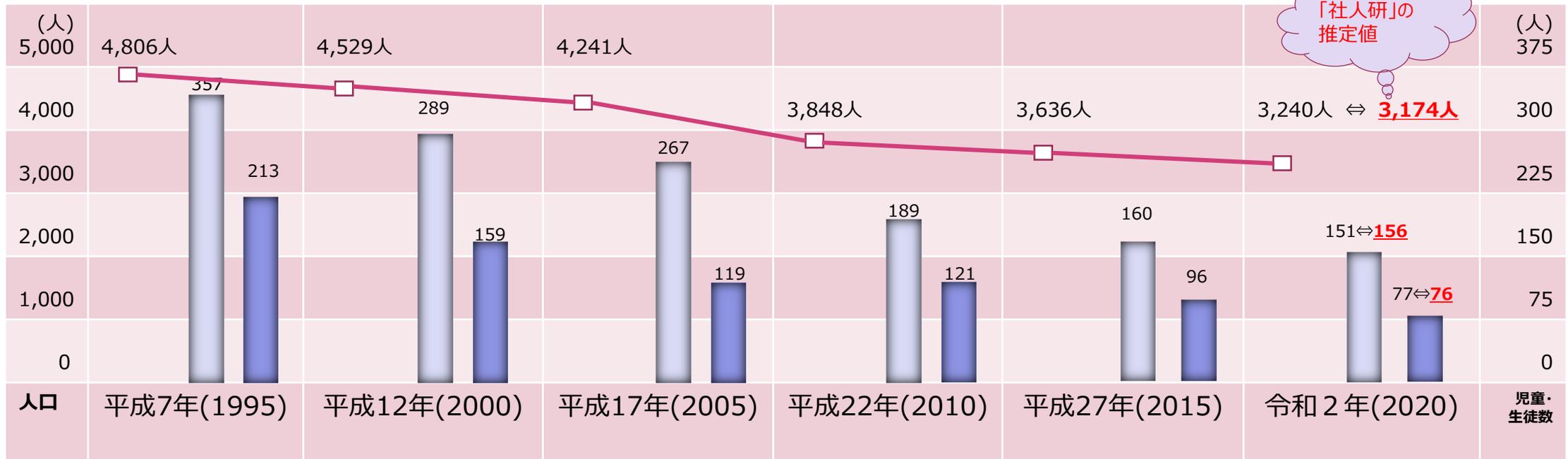
田野畑中学校

平成21年8月新築落成
寄宿舎：平成22年3月11日
現在の生徒数 = 87人

田野畑村の現状と課題

5年毎の人口の推移

5年毎の児童生徒数の推移



- ◇人口は減少が続く。平成17年(2005)を境に減少幅が大きくなっている。
- ◇令和2年(2020)の人口は「社会研」の推定値よりも若干上回っている。
- ◇児童生徒数が平成22年(2010)に大きく減少している。
- ◇グラフにはないが、人口に占める65歳以上の割合は41%である。
- ◇グラフにはないが、1年間の出生数が20人台で推移してきたがここ3年間は10人に満たない。

田野畑村の現状と課題

人口推移の内訳：3年間分

年度	2018年（平成30年）		2019年（令和元年）		2020年（令和2年）	
死亡数	69	186	70	194	65	160
転出数	117		124		95	
転入数	73	82	70	80	61	71
出生数	9		10		10	
増減数	-104		-114		-89	

2年間の表からわかること

- ◇ **自然減**（死亡者数－出生者数）：2018年は（69－9）＝60人の自然減
2019年は（70－10）＝60人の自然減
- ◇ **社会減**（転出者数－転入者数）：2018年は（117－73）＝44人の社会減
2019年は（124－70）＝54人の社会減

⇒ **対策**：「子育て世代に魅力ある村」＋「高齢者が孫世代に自信をもって定住を進められる魅力ある村」

田野畑村の現状と課題

「田野畑教育の歩み」の紹介

昭和22年（1947）新制「田野畑中学校」発足

昭和24年（1949）「岩泉高校田野畑校」発足

昭和40年（1965）「田野畑村教育振興運動」開始

昭和49年（1974）「田野畑中学校校舎」落成

「田野畑中学校寄宿舎」新築落成

昭和52年（1977）「第1回村民のつどい」開催

当初、産業と教育運動 「米国アラム大学より寮母」招聘

昭和54年（1979）「田野畑中学校」完全統合

昭和56年（1981）「中学生アメリカ研修旅行」開始

昭和59年（1984）「三陸鉄道開通」「思惟大橋開通」

☆村づくりは人づくり、人づくりは教育から！

：6本校+3分校+中学校+高校の1.1実践区

平成9年（1997）「田野畑小学校校舎」落成

平成14年（2002）「完全学校週5日制」開始

平成15年（2003）「アズビィ楽習センター」落成

平成21年（2009）「田野畑中学校校舎・体育館」落成

平成22年（2010）「田野畑小学校」1校に統合

（6校：田野畑・沼袋・机・羅賀・島越・浜岩泉小）

平成23年（2011）3月11日：東日本大震災発生！

平成28年（2016）ICT 教育環境整備開始

令和2年3月（2020）小・中学校教室等へエアコン設置

令和2年8月（2020）学校給食センター改築・給食供給開始

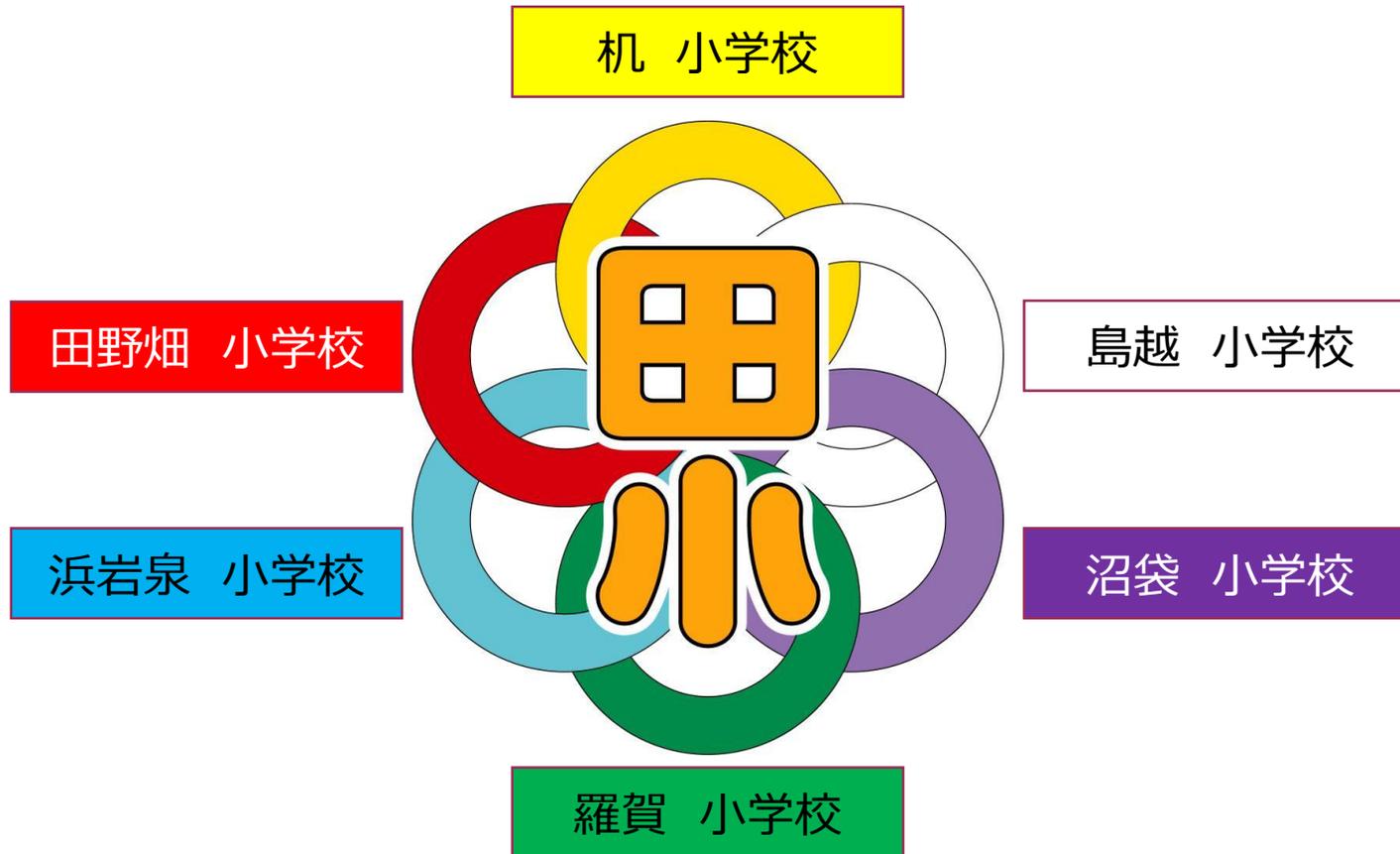
生涯学習社会の構築に向けて

村教振の転換点

田野畑村の現状と課題

～田野畑村 小学校の統合～

平成22年4月1日 村内6小学校を統合し、新 田野畑小学校を設置。通学は総合バス（スクールバス）を運行



この年、中学校は『寄宿舍』を全面閉鎖した。

田野畑小学校校舎



田野畑村の現状と課題

～田野畑村 中学校の統合～

～本校1校（田野畑）分校5校（羅賀、沼袋、島越、浜岩泉、机）～

昭和49年4月1日 田野畑、羅賀、島越、浜岩泉校舎を廃止し、田野畑中学校（統合中学校）及び寄宿舎を設置。

昭和53年3月31日 机（分校）校舎廃校

昭和54年3月31日 沼袋（分校）校舎廃校

昭和54年4月1日 田野畑中学校 完全統合

平成22年3月11日 寄宿舎「閉寮」 通学は総合バス（スクールバス）を運行

田野畑中学校旧校舎



田野畑中学校寄宿舎



田野畑中学校現校舎



田野畑村 教育の現状と課題

教育課題のまとめ 1

1 出生数の急激な減少

- ◆平成29年（2017）までは、20人台（中1=34名）で推移してきたが、平成30年（2018）=9人、令和元年（2019）=10人、令和2年度（2020）=10人である。

2 魅力ある幼児教育の充実（Uターン・Jターン・Iターンを！）

- ◆現状：0歳児～5歳児 = 若桐保育園、3歳児～5歳児 = 田野畑児童館
- ◇将来：田野畑こども園の設置（まだ未定！）

より一層の子育て環境の充実（子育て包括支援センター・「森の幼稚園」の選択肢等）

田野畑のよさ（ひと・もの・こと）を存分に生かそう！



保育園の様子

田野畑村 教育の現状と課題

教育課題のまとめ 2

3 小学校1校と中学校1校の充実

より一層の地域との
連携・協働の必要！

◆現状：小・中連携（一貫）教育の推進 = 校舎（小学校は築23年・中学校は築13年）が2.5km離れている。

◇将来：児童生徒数を勘案しながら、小・中学校教育のより一層の充実

田野畑の教育振興運動は55年の積み上げがある！
= 精神 + 手法

4 昭和40年から継続してきた「田野畑村教育振興運動」の充実

◆現状：10年前（平成22年(2010)4月：東日本大震災の年度初め）6校の小学校が田野畑小学校として統合
新生田野畑小学校の基礎固めの時期が復興事業に傾注してきた現実。

◇将来：「村民が心一つ」に魅力ある田野畑教育（教育振興運動）の再構築 = 子どもと共に大人の学習

田野畑村 教育の目指すもの

田野畑教育に求められるもの

取り組み例：その1

1 保児・小・中学校教育のより一層の連携

(1) 保・児・小学校の連携

- ① 就学支援委員会の充実（一人一人を大切にする教育）
- ② 保育・授業参観研修の充実（保育士・教員の研修機会）
- ③ 社会教育での子育て・家庭教育の研修充実：愛着・習慣
- ④ 接続期のカリキュラム編成と実践化：計画的連携（実践化）

インクルーシブ教育の進行

「だれ一人も取り残さない
教育展開しよう！」

現在：知的学級2名（3年・5年）
情緒学級4名（3年3・4年1）
ことばの学級

※普通学級の子供たちも！

⇒ ユニバーサルデザインの授業を！

民俗資料館：一揆の像



田野畑村 教育の目指すもの

田野畑教育に求められるもの

(2) 小・中学校の連携教育

- ① **10年前から小・中学校連携（一貫）教育の研究・研修**
- ② **認知的能力と非認知的能力の調和（本村の子供たちは自尊心が低い傾向）：生きる力**
- ③ **田野畑村の「ひと・もの・こと」から学ぶ「田野畑学」の展開（取り組み例2を参照）**
- ④ **村民と協働活動を展開する「地域学校協働本部」「コミュニティ・スクール」の展開（〃）**
- ⑤ **ふるさとに貢献する活動**
 - ・「田野畑村の紹介（小・中学校の修学旅行など）」：ふるさと学習
 - ・「中学校の仮会社comaru（村産材で製品化）」：道の駅

2こぶラクダの解消！
= 家庭環境 + 学力向上

背景：貧困・虐待・障害・
不登校・いじめ

田野畑のよさを実感しよう！
健全な自尊感情を育む！

教育振興
運動の再
構築



中学生が製品づくり

田野畑村 教育の目指すもの

田野畑教育に求められるもの

田野畑村の教育振興運動の歴史

1965年（昭和40年）岩手県教育振興運動の指定地区（大船渡市・田野畑村）3年間



その1：『田野畑の教育』昭和40年度研究紀要（村教委）
⇒当初の決意と、苦悩が述べられている。

その2：『教育振興運動の歩み』共同研究第1集（県教委）
⇒大船渡市と田野畑村の実践がまとめられている

その3：『教育振興運動の新しい歩みのために』（県教委）
－その考え方と評価－（昭和60年推進資料）
⇒20年経ての、新たな取組のために。

その4：『平成21年度田野畑村集約集会の冊子』（村教委）
⇒45年間の活動の成果と今後の課題

田野畑村 教育の目指すもの

田野畑教育に求められるもの

田野畑村の教育振興運動の成果と課題

☆ 2009年度（平成21年度）の第45回田野畑村教育振興運動集約集会の冊子より抜粋



田野畑村教育振興運動の45年間の集大成

⇒ 平成22年4月の小学校6校の統合を控えて
(村の教育振興運動の小学校が『実践区』)

その1：『**田野畑村教育振興運動協議会**』**45年間の歩み**
(別添資料1参照)

その2：『**実践事例集**』から抜粋
= 机地区実践協議会の事例 (別添資料2参照)

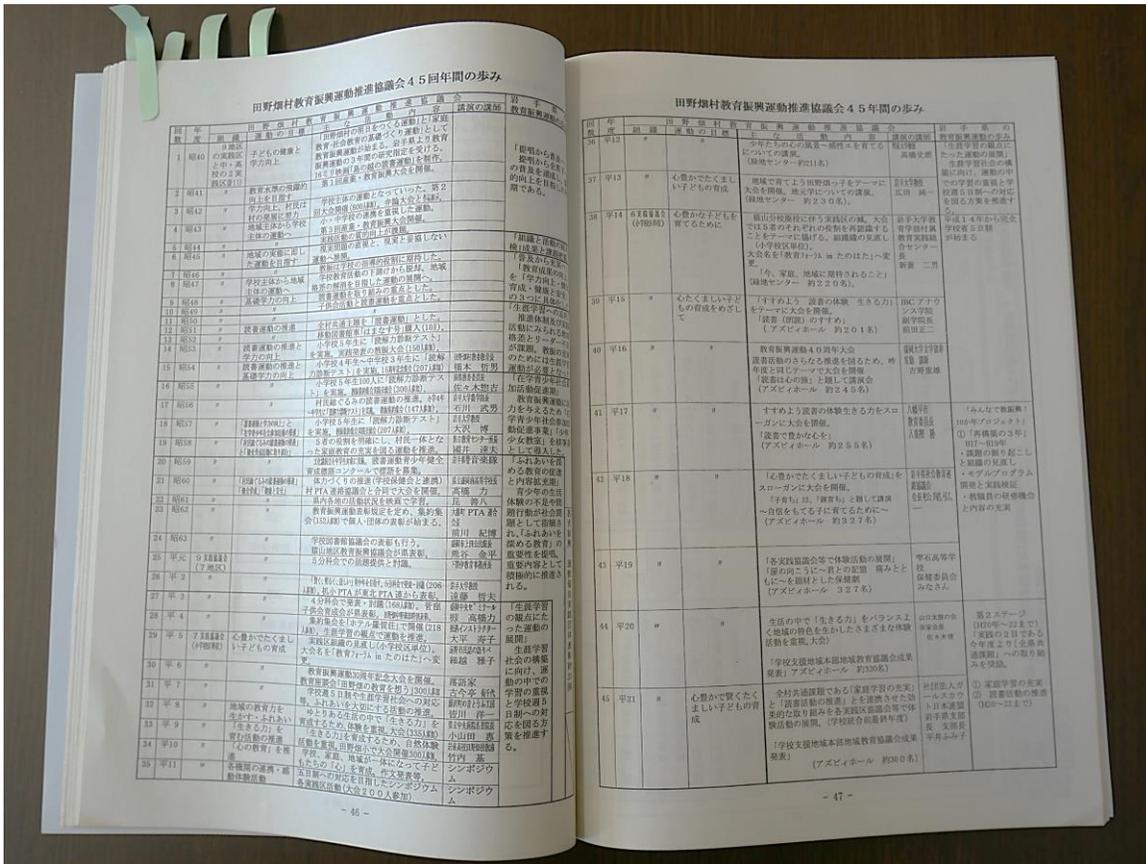
その3：**6実践区**の『**成果と課題**』を抜粋 (別添資料3参照)

その4：(平成14年度～) **田野畑村の組織機構図**
(別添資料4参照)

田野畑村 教育の目指すもの

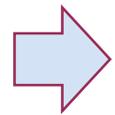
田野畑教育に求められるもの

その1 : 『田野畑村教育振興運動推進協議会』45年間の歩み (別添資料1参照)



田野畑村教育振興運動の45年間の歩みが記録

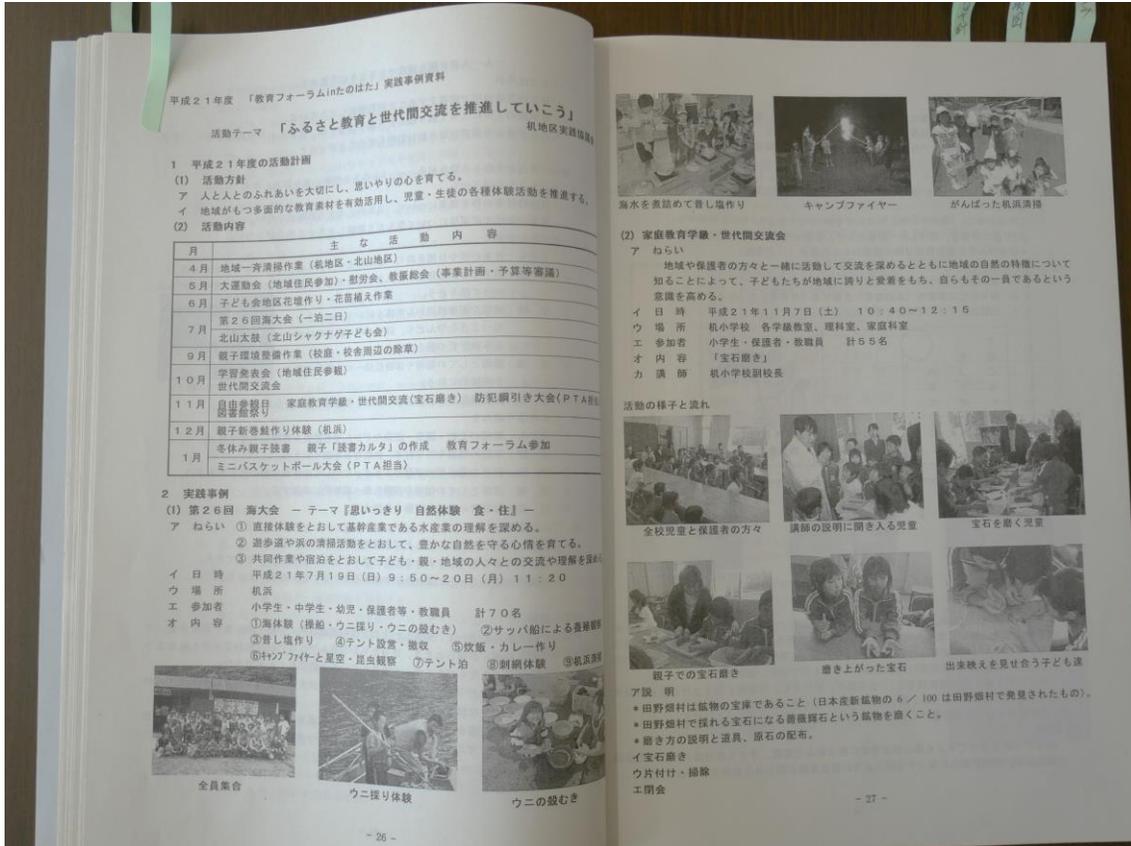
- 1 組織 = 『実践区』の変遷が分かる
⇒ 小学校区6実践区 + 中学校 + 高校 = 11
- 2 運動目標・主な活動内容が分かる
⇒ 健康と学力～基礎学力～読書運動～健康安全～豊かな心～たくましい子へと時代の要請で変遷
- 3 講演の講師が分かる
⇒ 読書活動・ふれあい活動・家庭教育・生きる力等
- 4 岩手県の教育振興運動の歩みが分かる
⇒ 普及・充実・生涯学習・ふれあい活動・5日制対応・再構築・家庭学習の充実



田野畑村 教育の目指すもの

田野畑教育に求められるもの

その2 : 『実践事例集』から = 机地区実践協議会の事例 (別添資料2 参照)



活動テーマ『ふるさと教育と世代間交流を推進していこう』

1 平成21年度の活動計画

(1)活動方針：明確な方針の設定

(2)活動内容：4月～1月まで月計画

2 実践事例：ねらい・参加者・内容等が明確

(1)第26回 海大会

テーマ『思いきり 自然体験 食・住』

(2)家庭教育学級・世代間交流会

(3)読書推進について

3 成果と課題



田野畑村 教育の目指すもの

田野畑教育に求められるもの

田野畑村の教育振興運動の成果と課題

その3：平成21年度の6実践区の『成果と課題』を抜粋（別添資料3参照）

<成果>

- ①登下校時、P T A交通安全指導 = 挨拶運動
- ②田野畑を学ぶ活動 = 歴史・伝統芸能伝承の体験
- ③1日学習参観日 = キャリア教育に関わる学習
- ④農業体験活動 = 地域ボランティアの協力を得て充実
- ⑤地域・学校・P T Aと連携 = 伝承活動・読書活動
- ⑥読み聞かせ等 = 幼小連携の強化
- ⑦夏休み親子キャンプ = 望ましい親子関係・異年齢交流
- ⑧家庭教育学級 = フランス料理食事会
- ⑨閉校を控え、様々に活動 = 5者の連携協力の証
- ⑩統合後も理解と協力体制が確立 = 継続できる基盤

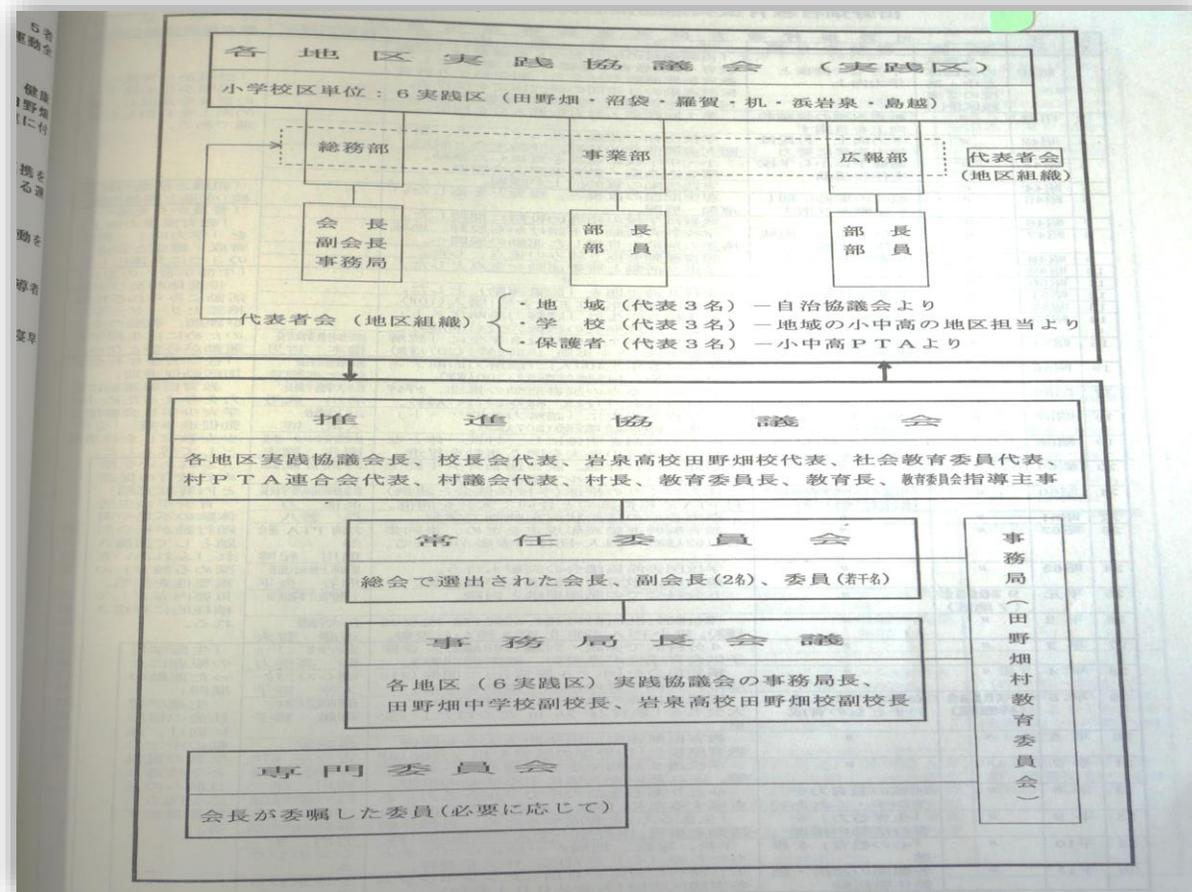
<課題>

- ①5者のよさを出し合いさらによりよい教育振興運動に。
- ②産業・人的財産を活かした田野畑の児童の育成
- ③小学校統合後の健全育成を図られる体制の確立
- ④子供の実態をとらえ、成長の姿を目指した実践
- ⑤統合後に、より積極的な連携のために、組織と具体的にどのように進めていくのかの検討を急ぐ必要
- ⑥家庭学習、読書活動に差が大きいので、学校との連携
- ⑦教振を進めるのがP T A会員。地区の1割。五者の分担と連携をどのように進めるか共通理解
- ⑧中学校：小学校実践区との連携や活動の検討

田野畑村 教育の目指すもの

田野畑教育に求められるもの

その4 : (平成14年度~) 田野畑村の組織機構図 (別添資料4参照)



『田野畑村の教育振興運動の組織機構図』 (平成21年度の頃)

- 1 『推進協議会』と『各地区の実践区』
 - (1) 『推進協議会』(村長・各会長・校長等)
 = 常任委員会-事務局長会議 (8実践区)
 田野畑村教育委員会
 - (2) 『各地区の実践区』(小学校単位 6実践区)
 = 地区組織 : **総務部・事業部・広報部**
- ↑
- 代表者会 (地域組織)
 (地域 3名) + (学校3名) + (保護者3名)
 自治協議会 小中校教員 小中校PTA

田野畑村 教育の目指すもの

田野畑教育に求められるもの

田野畑村の教育振興運動の課題

<課題>

- ① 5者のよさを出し合いさらによりよい教育振興運動に。
- ② 産業・人的財産を活かした田野畑の児童の育成
- ③ 小学校統合後の健全育成を図られる体制の確立
- ④ 子供の実態をとらえ、成長の姿を目指した実践
- ⑤ 統合後に、より積極的な連携のために、組織と具体的にどのように進めていくのかの検討を急ぐ必要
- ⑥ 家庭学習、読書活動に差が大きいので、学校との連携
- ⑦ 教振を進めるのがP T A会員。地区の1割。五者の分担と連携をどのように進めるか共通理解
- ⑧ 中学校：小学校実践区との連携や活動の検討

⇒ 田野畑村の教育振興運動の再構築の是非
⇒ 小学校実践区の統合による消滅
各実践区の人材不足
郷土芸能伝承活動等が実践区の負担
統合小学校への負担増
小学校消滅による活動意欲の低下
大震災後の地域コミュニティの希薄化
活動する人が限定的であること

再構築の視点

- ・小中学校を核とする
- ・開かれた学校
- ・課題の見える化
- ・5者の役割の明確化
- ・主体的な教育活動を展開
- ・体験活動を展開
- ・大人の教育活動の場を提供
- ・村ぐるみの教育活動を展開
- ・持続可能な活動

田野畑村 教育の目指すもの

田野畑教育に求められるもの

教育振興運動の基本理念・運動目標に立ち返る

<運動の基本理念>

- ①5者（子ども・親・教師・地域社会・教育行政）が責任を明確にし、力を合わせて教育の向上に努める運動
- ②自主的な意欲の盛り上がりにより、継続的に行われる運動
- ③地域社会の実情に即した運動
- ④課題解決に、みんなの意欲と力を集結する組織的な運動
- ⑤具体的な成果を期する運動

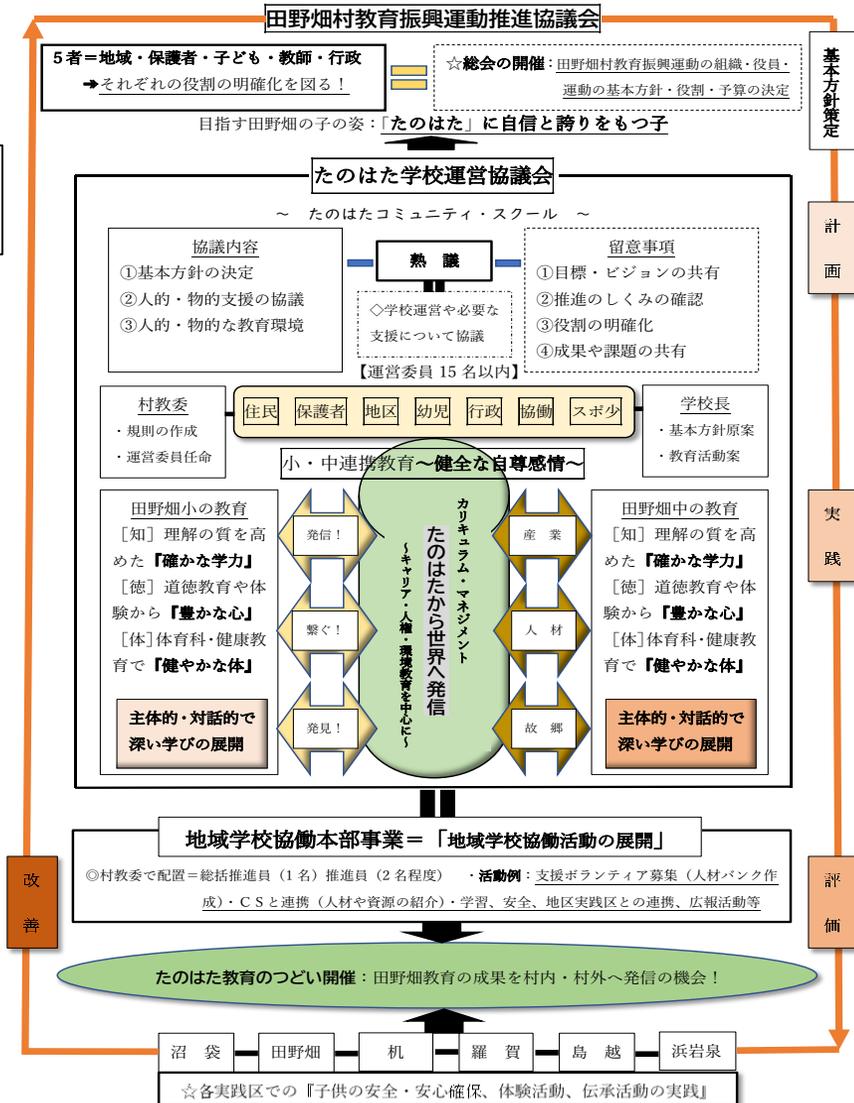
5者の目標・責任

- ①子ども … 学習意欲を高める
- ②家庭 … 家庭教育を充実させる
- ③学校 … 学校教育を充実させる
- ④地域 … 地域社会の教育環境を整える
- ⑤行政 … さまざまな教育条件の整備充実させる

田野畑村 教育の目指すもの

取り組み例
: その2

(別添資料5
参照)



1 『教育振興運動推進協議会』の意義

⇒ 教育振興運動の意義・推進の共通理解の場
(「村づくりは人づくり 人づくりは教育」)

2 『学校運営協議会』の意義 = 心臓: 振興運動の精神・手法

- ⇒ ① 課題 (学力向上・健全育成・安心安全 = 評価可能な目標)
- ② 運動推進の仕組み理解
- ③ 5者の役割の理解 (主体的運動・学びフェストの活用)
- ④ マネジメント・サイクルの確立 (持続可能な運動 = 評価)
- ⑤ 学校の教育活動の充実 (田野畑学の展開・自尊感情の健全化)

3 『地域学校協働本部事業』の意義

- ① 地域と学校の教育活動をつなぐ役割
- ② 地域人材の掘り起こし (現在ボランティア登録人数 = 59人)

田野畑村 教育の目指すもの

取り組み例 : その2

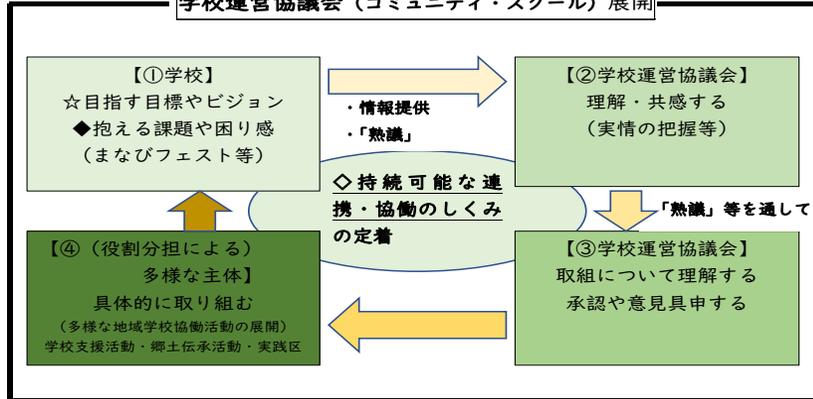
田野畑村教育振興運動の具体的な進め方のイメージ

令和2年1月30日(金)作成

教育振興運動推進協議会の役割

役割：『総会』を年1回開催・田野畑村の教育振興運動の基本方針・推進組織・予算を策定
委員：村長・議会選出者・6実践区長・小中学校長・小中PTA会長・保児長・社教委長・村教委
総会：年度初めに開催①実績（各実践区・CS・協働本部・青少年育成）の報告
②予算の収支案
③運動推進案（基本方針・推進計画・推進組織の役割）

学校運営協議会（コミュニティ・スクール）展開



地域学校協働本部 = 地域学校をつなぐ役割

『地域学校協働活動』 ※◎=実践 ○=未定

学校内における活動		学校外における活動	
教育課程内	教育課程外	教育振興運動	その他
◎ゲストティーチャー	○読み聞かせ	◎郷土芸能伝承	○地域行事
◎学習支援	◎図書ボランティア	○情報メディア	○実践区の体験活動
	◎環境整備 等	○親子読書	○多様な体験活動
		◎登下校の見守り	○放課後子供教室
		○多様な体験活動	○放課後児童クラブ

沼袋実践区 机実践区 田野畑実践区 浜岩泉実践区 羅賀実践区 島越実践区

☆各実践区での子供の安全・安心、体験活動、伝承活動等の自主活動(他の実践区との交流の推進も!)

イメージ

1 教育振興運動推進協議会の役割

- ⇒ ①実績報告（地区実践・CS・協働・少育成）
- ②各予算の収支案
- ③運動推進案（方針・計画・5者の役割確認）

2 学校運営協議会の役割

- ⇒ ①小中学校の学校経営の『見える化』
- ②熟議：課題の『見える化』
- ③5者の具体的取り組み『見える化』

3 地域学校協働本部の役割

- ⇒ ①地域ボランティアの組織
- ②地域学校協働活動の計画・実施・広報

4 各地域活動の役割

- ⇒ ①地域の教育環境の整備
- ②地域の伝承活動、体験活動の自主活動

田野畑村 教育の目指すもの

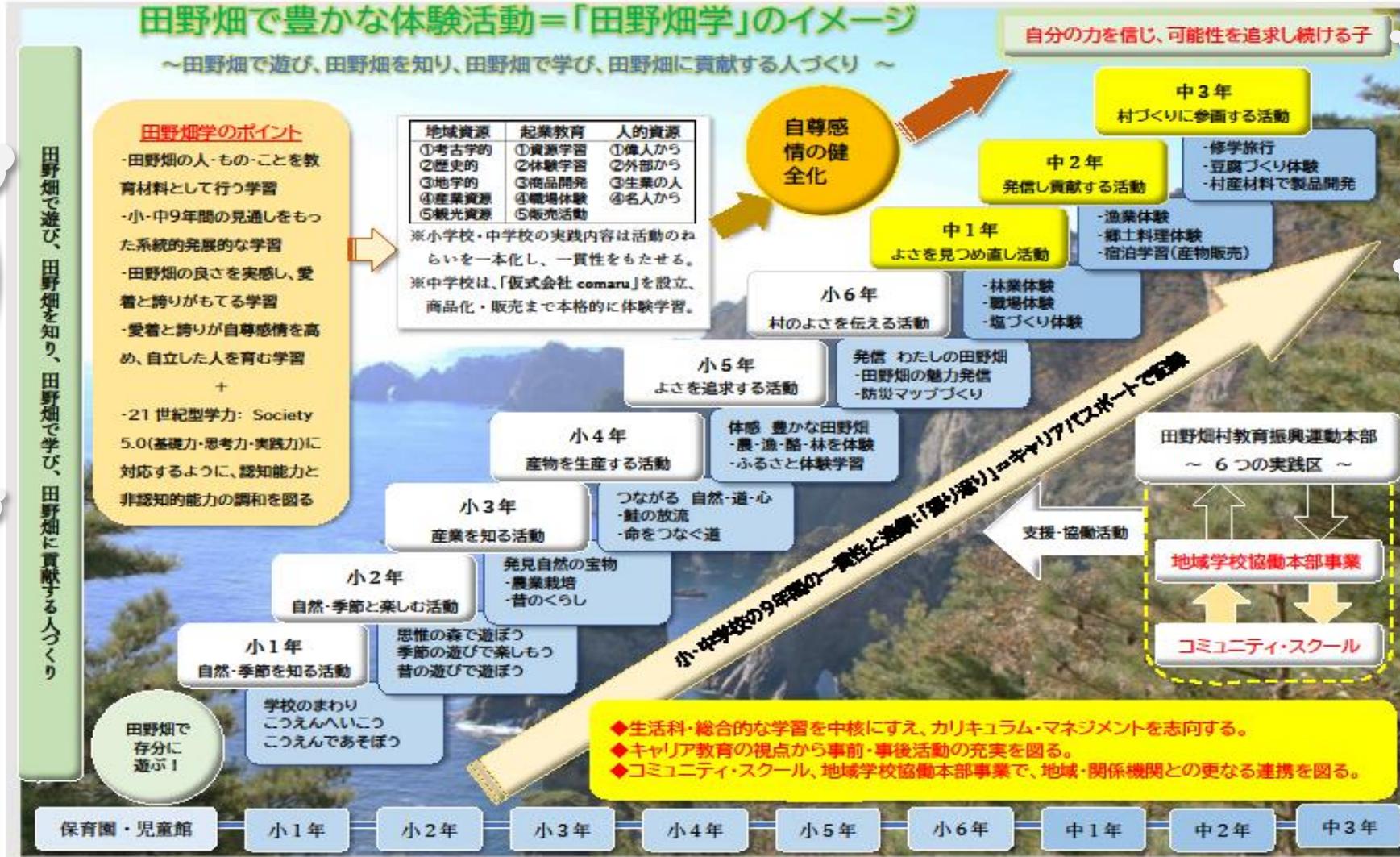
(別添資料6 参照)

田野畑のよさを実感！

- ①地域資源
- ②起業教育
- ③人的資源

を教材として学びます。

中学校は仮
株式会社
comaru
※R3.4月
22日道の
駅のはた
『思惟の風』へ
製品販売の
店を出店！



このような
子供たちを
育てます！

21世紀型学
力(基礎力・
思考力・実践
力)＝生きる
力を育みます。

村民の皆さ
んと共に教
育活動を展
開します！

田野畑村 教育の目指すもの

田野畑教育に求められるもの

(3) 子供の安心安全を守る家庭への支援・連携

① 家庭への経済的支援（取り組み例3を参照）

- ・保育料：平成23年度より保育料の無料化
- ・医療費：平成26年度より0歳～18歳まで無料化
- ・就学援助費：令和元年度より支給基準見直し
- ・祝い金制度：平成30年度より、小入学時・中入学時・中卒業時に祝い金
- ・高校通学補助：岩泉町・野田村の補助、岩手県学び基金より三鉄通学利用補助（半額）
- ・コロナ禍での支援：令和2年度学校給食費4月～3月まで1年間の無償等

※インフルエンザ予防接種：全村民+通勤する教職員・職員も無料です。

※祝い金の支給額

- ①小学校入学時：2万円
- ②小学校卒業時：2万5千円
- ③中学校卒業時：3万円

田野畑村 教育の目指すもの

取り組み例：その3

(別添資料7 参照)

「田野畑子育て支援の姿」

○家庭の安定

：経済的な安定・心の安定

○教育環境の整備

：子育て支援環境の充実

教育システムの構築

地域・関係各課との連携

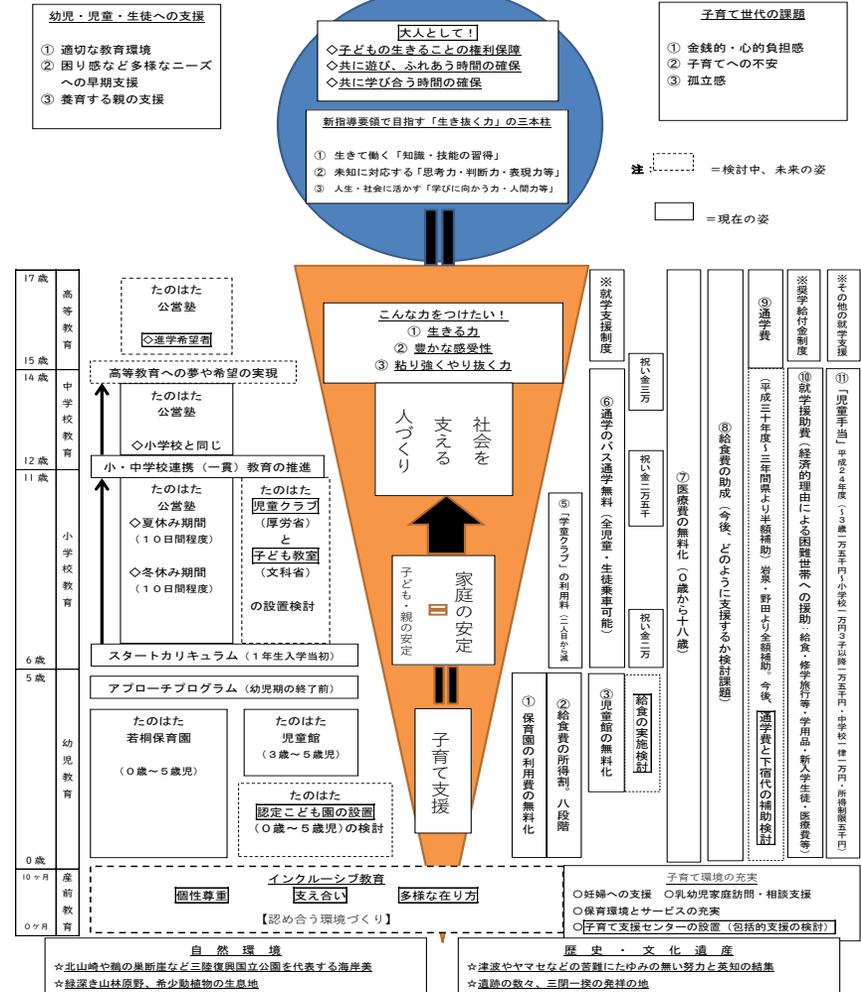
◇小学生
公営塾の開設

- ・夏休み、冬休み期間 (7日間程度)
- ・希望者
- ・個別学習
- ・ボランティア
- ・読書タイム
- ・百問九九 等

※子供たちの長期休業中の学習を応援しています！

たのはた子育て支援の姿 (案)

平成 30 年 6 月 19 日作成



田野畑村 教育の目指すもの

田野畑教育に求められるもの

(4) 教育環境の充実：学校への支援・連携

② 学校の教育環境の充実

・エアコンの設置：令和2年度利用開始（小学校：全普通教室＋一部特別教室、中学校：全教室）

・給食センターの改築：昨年度2学期より小・中学校へ給食配送開始

・教育推進・支援員の配置：特別支援教育支援員7名（小学校5名・中学校2名）

I C T活用等推進員1名、国際交流推進員1名、A L T 1名（取り組み例4を参照）

・部活動指導員の配置：中学校 6部活動へ全て配置（取り組み例4を参照）

・I C T教育環境の整備：平成28年度整備（校内ネットワーク・パソコン・校務統合ソフト等）G I G Aスクール構想に対応

田野畑村 教育の目指すもの

取り組み例：その4

◇部活動指導員の配置



○導入への願い

- ・生徒の技能向上
- ・指導員の研修
- ・将来の部活へ対応 ⇒ 地域の人材・教育力の向上
- ・教職員の多忙化解消
- ・指導員の待遇

◇ICT活用等推進員等の配置

ICT活用等推進員



A L T (アールム大学)



おわりに

新学校給食センター R2.8.1開所



旧学校給食センター R2.7.31閉所 (S54年～)



ご清聴ありがとうございました

おまけ

道の駅：たのはた『思惟の風』



売り場の様子

田野畑の乳製品が新パッケージ



売り場の様子

田野畑中学校の仮会社『Comaru』の売り場

